

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	06	01	0403	競技スポーツ支援事業費	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-4	スポーツの振興			
	施策	2	競技スポーツの推進			
目的	競技スポーツの支援を行う。					
対象	市民、花巻市体育協会、実行委員会等					
意図	競技力・指導力の向上を図る。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○花巻市体育協会 競技スポーツ振興事業補助金 ○全国スポーツ大会等出場事業補助金（定額制） ○全国スポーツ大会等開催事業補助金 ○イーハトーブレディース駅伝大会の開催 ○イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会の開催						
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		<input type="radio"/> 共催 <input type="radio"/> 後援・協賛	<input type="radio"/> 実行委員会・協議会 <input type="radio"/> 補助・助成	<input type="radio"/> 事業協力・協定 <input type="radio"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	児童・生徒による県大会以上出場補助件数	件	計画	101	101	101
			実績	124	152	
②	高校生一般の全国大会出場補助件数	件	計画	7	7	7
			実績	11	7	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	全国大会出場件数	件	目標	124	125	125
			実績	135	117	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
スポーツ大会出場者の参加機会増加のため大会運営を支援するとともに、各種スポーツ大会の開催に対する補助や大会実行委員会に対する経費負担により競技スポーツの支援を行っている。さらに、花巻市スポーツ競技大会出場補助により、スポーツ競技大会出場の増加を図っている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	競技人口の減少が懸念されており、市民のスポーツに対する関心と意欲を高めるため、競技スポーツに取り組む環境づくりや競技力の向上が求められる。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	スポーツ競技団体の指導者養成講習会や実技指導講習会を支援し、練習環境の改善を図る。さらに、市内小学生を対象としたキッズアスリート育成事業の実施により、県以上の大会への出場機会の増加や優勝数の増加を目指す。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	いわて国体など各種全国大会等に向け、さらなる競技力の向上と底辺の拡大を図る必要がある。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民のスポーツに対する関心と意欲を高めるためにも、競技スポーツに取り組む環境づくりや競技力の向上が求められる。
	<input type="radio"/> 適正である	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
スポーツ基本法が制定（平成23年8月23日施行）されたことに伴い、平成24年3月30日付けで、スポーツ基本計画が策定された。 大会出場者の確実な参加機会の提供のため、参加に係る経費の補助を実施するとともに、各種スポーツ大会の開催に対する補助や大会実行委員会に対する経費負担により競技スポーツを支援した結果、児童生徒の県大会優勝数が増加するなどの成果があった。 しかし、新規大会が多くなっており、補助基準や、補助すべき大会の見直しを図っていく必要がある。 国がスポーツ基本計画を策定し、①子どものスポーツの機会の充実、②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備等が政策目標として掲げた。このことにより、より一層、スポーツ環境の整備を図り、市民の多様化するニーズに対応したスポーツ教室等の開催につとめながら、スポーツの機会の充実とスポーツ活動の推進を図っていかねばならない。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	0403	競技スポーツ支援事業費

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		31,815	34,971		3,156
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他	590			△ 590
	一般財源	31,225	34,971		3,746

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標

競技スポーツの推進

事業開始の背景・経緯

旧法：スポーツ振興法の規定に基づき、平成12年9月に文部大臣告示としてスポーツ振興計画を策定。その中で、生涯スポーツ（現、地域スポーツ）社会の実現のため、子どもの体力の向上方策や総合型地域スポーツクラブ設立の全国展開を行ってきた。その後、平成23年8月、スポーツ基本法を制定し、平成24年3月に、スポーツ基本計画を新たに策定。

事業概要

- 花巻市体育協会 競技スポーツ振興事業補助金
- 全国スポーツ大会等出場事業補助金（定額制）
- 全国スポーツ大会等開催事業補助金
- イーハトーブレディース駅伝大会の開催
- イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会の開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

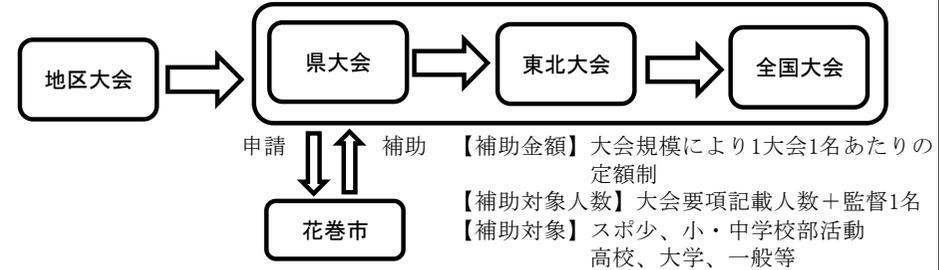
平成27年度から大会出場補助金を定額制とすることで、補助金交付対象大会を見直し、補助金の適正化（公平性を保つ）を図った。  
大会運営役員の高齢化が進み、次期世代の後継者を育成していかなければ、大会運営が難しくなるおそれがある団体が多くなってきている。そのためにも、プロスポーツ選手をセカンドキャリアとして雇用したり、雇用の場を提供できる体制を整えていかなければならない。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 293

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 花巻市スポーツ競技大会出場補助金 13,207,000円  
(小・中学校6,542,000円、高校大学一般全国大会6,665,000円)



- 県民体育大会出場事業補助 1,739,372円  
花巻代表選手の参加料、交通費、宿泊費に対する補助 事業主体：市体育協会

- 競技スポーツ振興事業補助金 1,380,000円  
指導者講習会、団体種目強化費、スポーツ大会開催費に対する補助 事業主体：市体育協会

- 指導者講習会開催業務委託 972,000円  
全11回 定員25名（18歳以上の市民） 委託先：体育協会

- キッズアスリート育成業務委託 1,998,000円  
運動能力の優れた児童及びその保護者を対象に、専門的知識やスポーツ体験の機会を提供 全10回 定員20名（小6体力テストB以上） 委託先：体育協会

- 各実行委員会負担金等 13,885,000円
  - ・イーハトーブレディース駅伝 4,000,000円 10月18日 約86チーム 事業費8,596,010円
  - ・イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会 6,000,000円 4月26日 事業費15,015,621円
  - ・東北総合体育大会花巻市実行委員会 3,885,000円

- 各種大会開催補助金 975,000円
  - ・早起き野球リーグ 50,000円 5～9月開催 121試合 19チーム
  - ・岩手県高校駅伝 125,000円 10月下旬 男子28～32チーム、女子18～22チーム
  - ・ふれあいソフトボール 100,000円 5月3～4日 石鳥谷ふれあい運動公園 18チーム
  - ・東日本大学バレー 500,000円 6月24～28日 男女約100チーム
  - ・冬季インターハイアイスホッケー 200,000円 1月17～21日 石鳥谷アイスアリーナ 26チーム